

事務事業 No./名称	□サービス部門 教総30		教育情報事業				
主管課	教育センター	関連課					
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	教育現場のニーズに対して、教育情報の収集、提供を行い教育活動を支援する。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	2,917	3,525	10,809			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	2,917	3,525	10,809			
	人員配置数	1.0	1.0	1.0			
	人件費(千円)	9,198	9,483	9,956			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	12,115	13,008	22,765			
	市民1人当りの経費(円)	68円	74円	118円			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
副読本等資料出版費抑制	◎	目標値	7935千円	5153千円	4223千円	4223千円	4223千円
		実績値	3525千円	2917千円			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
教育情報事業	2,917千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E
	事業の概要	小・中学校社会科副読本と中学校理科副読本の印刷製本、「かまくら子ども風土記」販売と書店への販売委託。教育資料の収集・提供					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	「かまくら子ども風土記」の販売促進、教育資料提供のための整理とデータベース化
課題解決のための取組	「かまくら子ども風土記」の委託販売先を、鎌倉市内に加え、藤沢市の書店にも広げた。教育資料のデータベースの基礎資料の作成に取り組む。研修記録のDVDを希望学校へ提供する。
未解決の課題	「かまくら子ども風土記」残部2500冊の販売。教育資料データベース基礎資料作成が全体量の4分の1程度終了。
今後の方針	「かまくら子ども風土記」の販売促進に取り組む。教育資料のデータベース基礎資料の作成を進めていく。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ <b>B</b> ※ □事業完了 課長名 島巡 紀子

